

「辰」

(表紙の写真は、安楽寺本堂内陣余間の欄間に描かれている竜)

十二支中唯一の空想の動物

十二支の5番目の干支である辰(たつ)は、十二支中のただ1つの空想上の動物です。一般には「竜」と書き、「タツ」または「リュウ」と呼ばれています。

この地方では、地元のプロ野球チーム・中日ドラゴンズが馴染み深いかもしれません。

竜の伝説は世界各地に分布しており、さまざまな形で伝えられています。

その姿は、おおむねへびやトカゲのような体に、角を持った猛禽類か猛獣の頭、それに翼を組み合わせた形で描かれています。また、竜の性格や役割も、悪役になったり、神聖な動物として扱われたりと、地域によってさまざまです。

世界各地に伝わる神話の中の竜

英語やフランス語ではドラゴン(Dragon)と呼ばれる竜。ヨーロッパの神話では、暗黒の化身のように扱われ、英雄や神々に征伐される話が残っています。しかし、竜には雲を呼び、雨を降らせる力があるとされ、雨によって五穀豊穡をもたらすと信仰もされています。

中国では竜は麒麟、鳳凰、亀とともに四霊と呼ばれています。竜は淵にすむ神秘的な動物で、水や雨に関係するとされています。また、竜は天子のシンボルとされ、天子の顔を竜顔などと表現していました。

水や雨をつかさどる竜神・水神のシンボル

日本では竜は神聖視されており、古代神話にも竜が登場しています。

『古事記』と『日本書記』には、トヨタマヒメの産屋での変身をヒコホホデミノミコトが見るくだりがありますが、古事記では八尋のワニになったとあり、日本書記には「竜となりぬ」と記されています。

また、日本でも竜は雲を呼び、雨を降らせる神として古くから信仰されており、それが各地に竜神・水神として残っています。

困難を乗り越えて躍進する年へ

「竜」のつく言葉では、「竜頭蛇尾」「画竜点睛」「登竜門」など、中国の故事に由来する言葉がよく知られています。

「登竜門」は、黄河上流の急流の溪谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から、成功への一歩となる難関という意味があります。

去年は、未曾有の大災害など困難の多い年でしたが、今年はこの辰年にあやかって、難関を突破し、飛躍する年にしていきたいですね。(あ)

目次 Contents

表紙解説	2
市長年頭あいさつ	3
平成23年を振り返って	4-5
財政状況	6-7
土地情報	8-9
人事行政の運営状況	10-13
オーストラリアスタジアムツアー	14-15
生命の海から・若者サポートステーション	16
読む水族館・図書館だより	17
保健センター便り	18-19
遊びにおいでよ児童館へ	20
市民相談	21
お知らせ	22-31
クイズまちがいさがし	32
ふれあい宅配便	33